

包括的な可視性を獲得して SteelHeadのWAN最適化に組み込む

IT管理者にとっての課題のひとつは、ビジネスに不可欠なアプリケーションパフォーマンスの最適化と加速化に向けたニーズです。

とはいえ、IT管理者は多くの場合、ネットワーク全体においてどのアプリケーションが実行されているのか、それらを使用しているのは誰なのか、そのパフォーマンスはどの程度であるのかを把握していません。IT管理者はどのようにしてその必要不可欠なエンドツーエンドの可視性を獲得できるのでしょうか？

アプリケーション可視化が最適化ネットワークに挑む

ネットワーク運用チームは、ネットワークが従来型WANであるか、最適化WANであるか、クラウドへのインターネット接続を含む複雑なハイブリッド型ネットワークであるかに関係なく、ネットワーク全体におけるエンドユーザーのアプリケーションパフォーマンスを測定し、確保するよう求められるようになってきました。アプリケーションを完全に認識していなければ、ネットワーク運用チームはアプリケーション可視化が制限されて不利な立場に置かれます。その結果、パフォーマンスをトラブルシューティングする効率が低下し、解決に至る時間が長くなり、必要不可欠なアプリケーションに対するインテリジェンスが全体的に欠如します。

お客様の組織がアプリケーションパフォーマンスの改善を目的としてWAN最適化を採用している場合、それがネットワーク可視化のストーリーをややこしくしかねません。WAN最適化は、エンドツーエンドの応答時間、サービス品質 (Quality of Service) の変化、アプリケーションの詳細などをモニターする上で必要な詳細事項の多くを隠蔽する可能性があります。

SteelHeadを活用して可視性を確保する

Riverbed® SteelHead™ WAN最適化をRiverbed®ネットワークパフォーマンス管理 (NPM) と併用すると、アプリケーションデリバリーの高速化だけではなく、アプリケーションのモニタリングとトラブルシューティングの強化も図れます。

SteelHeadは、2,000を超える一般的なアプリケーションに対するディープパケットインスペクション (DPI) を提供し、アプリケーションを名前での確に識別し、カスタムアプリケーションも識別することができます。SteelCentral NPMはこのDPIを活用してその情報を表示します。そのため、娯楽的なトラフィックとビジネスクリティカルなトラフィックを簡単に区別することができます。アプリケーションのタイプと使用法、つまり、誰がいつ、どこで使ったのかについてインサイトを獲得します。

SteelHeadsはまた、リバーベッド独自のバージョンであるネットワークフロー、SteelFlowを活用しています。SteelFlowは、リバーベッドの企業フローモニタリングおよび分析ソリューションであるNetProfilerに最適化の指標に関するリッチな情報を提供します。この情報には、アプリケーションマッピング、帯域幅削減、最適化されたトラフィック遅延、QoS、再送信メトリックが含まれます。

SteelHead CXはまた、オンボードのパケットキャプチャを含んでいます。このパケットキャプチャはオンデマンドであり、情報が豊富で費用効率が高いリモートサイトのトラブルシューティングをアプライアンスを追加せずに行えます。

こうしたSteelHead固有のパフォーマンス管理機能によって以下を実現できます。

- アプリケーションの実行場所に関係なくすべてのアプリケーションを確認できる徹底したアプリケーションインテリジェンスとネットワーク可視化
- WAN可視性をすべてのロケーションで活用
- 集中型のリモートサイトネットワークトラブルシューティング

Riverbed NPMがSteelHeadを強化する

SteelHead内の可視性機能をフルに活用するには、SteelHeadをNetProfilerと併用するのがベストです。NetProfilerフローモニタリングおよび分析ソリューションはSteelFlowメトリックの活用が可能で、SteelHeadのWAN最適化ネットワークおよびアプリケーションにおける視認性を高めます。

NetProfilerがWAN最適化分析に向けて提供するユニークな機能の一部には以下のようなものが含まれます。

- 一元的サービス品質 (Quality of Service) ポリシー構成および可視性 NetProfilerは、NetProfilerデータに基づくQuality of Serviceルールを使用してQuality of Serviceをビジネス目標に一致させます。インバウンドおよびアウトバウンドのサービス品質の設定がアプリケーションやサイトの期待に応じているか否かを把握します。高額な帯域幅に対する投資が期待どおりのビジネス価値として戻ってきていることを確認します。
- 最適化アプリケーションの正確な応答時間分析。WAN最適化の使用によって応答時間は以下の3つの異なる部分に細分化されます。(クライアント → cSH)、(cSH → sSH2)、(sSH2 → サーバー)。NetProfilerとSteelFlowは、クライアント→サーバーから応答時間の正確なメトリックを得られるよう、各部分をまとめます。
- 最適化ネットワークパフォーマンス。SteelHeadによる最適化のすべての結果を同時に報告し、最適化の新たな機会を明らかにします。
- より迅速なトラブルシューティングを実現するために、最適化されたネットワークとアプリケーションのエンドツーエンドの概念を把握します。
- 帯域幅削減のメリットを把握します。リモートユーザーの快適さと生産性を維持するためにSteelHeadの投資収益率 (ROI) を報告し、最適化の新たな機会を明らかにします。

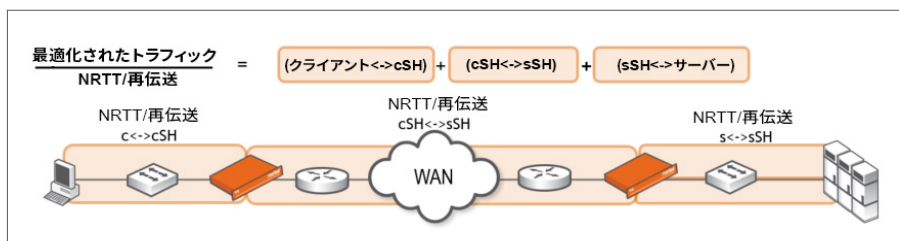


図1

ネットワーク往復時間 (NRTT) の測定時、最適化トラフィックの応答は3つの部分に分割されます。(クライアント → cSH)、(cSH → sSH2)、(sSH2 → サーバー)。NetProfilerは、真のNRTTを得られるようにこの3つの部分をまとめます。

ボトムライン - 加速化と制御を備えたアプリケーション可視化

SteelHead WAN最適化技術を既に活用しているお客様は、可視性技術とのこの緊密な統合による新たなメリットを見いだすことになります。SteelHeadが展開されたリモートサイトにおいて、この統合されたNPMソリューションはリモート拠点のコスト削減と可視性の強化を促します。

- SteelHeadに対する既存の投資を活用して、加速化、帯域幅削減、コスト効率化、リモートの可視性を確保する
- Riverbed NPMを用いてより迅速なトラブルシューティングを実現するために、最適化されたネットワークとアプリケーションのエンドツーエンドの概念を把握します。
- 重要なアプリケーションを、WAN全体にとどまらず、時と場所に関係なく最上のパフォーマンスで実行させ続けます。
- パフォーマンスの問題を開始直後から特定し、ビジネスに影響を与える問題を回避します。
- 問題のトラブルシューティングを、発生場所がどこであろうと迅速かつ効率的に行います。

どのような方法でRiverbed NPMが統合的な可視性をSteelHeadのWAN最適化に提供できるのかについて、詳しくは[ここをクリック](#)してください。

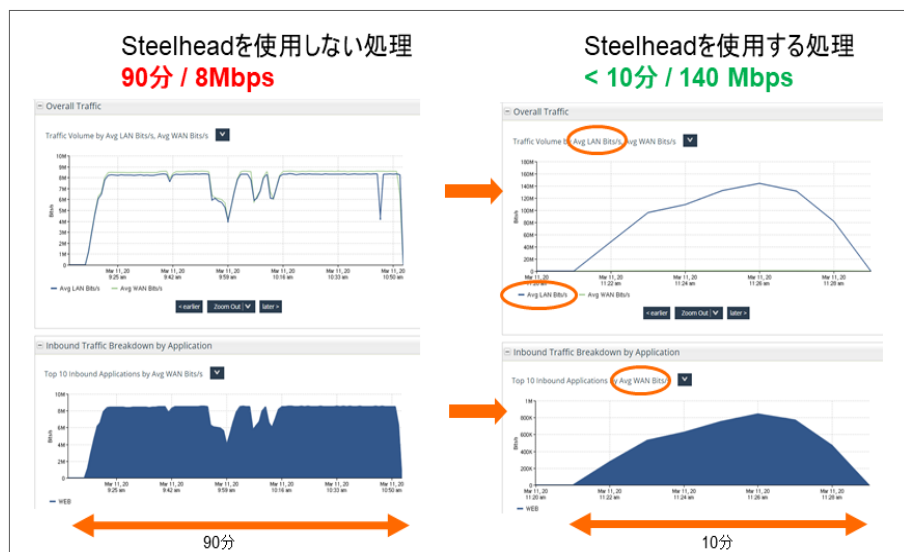


図2

この一連のNetProfilerレポートは、SteelHeadのWAN最適化導入前後のトランザクション時間とトラフィック量を比較したものです。SteelHeadを用いると、ファイルドロップにかかる転送時間は90分であったのが10分未満になりました。これは、WAN全体において転送が加速化されたからです (140 Mbpsに対して8 Mbps)。

リバーベッドについて

リバーベッドにより、組織はネットワークのパフォーマンスと可視性を最大化し、クラウドやデジタルの複雑さを克服して、クラウドやデジタルへの投資を完全に資本化できます。リバーベッドのネットワークとアプリケーションパフォーマンスプラットフォームを使用すれば、組織はあらゆるアプリケーションのすべてのネットワークのパフォーマンスを可視化、最適化、高速化、および改善できます。このプラットフォームは、クラス最高レベルのWAN最適化、ネットワークパフォーマンス管理 (NPM)、アプリケーション高速化 (Office 365、SaaS、クライアントとクラウドの高速化を含む)、エンタープライズ規模のSD-WANを活用してパフォーマンスと可視性に総合的に取り組みます。3万社を超えるリバーベッドのお客様の中にはフォーチュン100の99%の企業が含まれます。詳細は、<https://www.riverbed.com/jp/>のウェブサイトをご覧ください。

riverbed®